

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 山野火災における消防団連携強化事業

自治体名 島根県知夫村

消防団名 知夫村消防団

1 事業の目的

消火用水源がない場所での消火活動において、消防署員と消防団の連携を強化するため、必要な資機材を購入し訓練を実施する

2 事業内容

資機材の購入及び消防署員と合同訓練を実施

- ・ 訓練前会議 （実施日、実施場所、訓練体系、訓練目的、目標設定）
- ・ 資機材の購入 （ローリータンク、発電機、電動ポンプ、防火服、トランシーバー、サーチライト等）
- ・ 訓練実施 軽トラックを使用した消火用水運搬訓練 1回
- ・ 訓練後会議 （訓練後の振り返り、今後の課題など協議）
- ・ レポート配布

3 事業成果

<実施日>

前会議 10月25日
資機材購入 7月～10月
訓練 11月23日
後会議 12月13日
レポート配布 1月7日

<訓練参加者>

消防団員 30名（記録係2名含む）
消防署員 5名

<訓練体制>

消防署ポンプ車 1台
軽トラック 5台（班ごと各1台）

<成果>

訓練では、水の運搬方法や消火活動の手順を確認し、参加者がそれぞれの役割を理解しました。その後の振り返りにより、連携の強化や改善点を洗い出し、今後の訓練に活かす具体的な対策を立てることができました。これにより、消火活動の安全性と効率性がさらに向上することが期待されます。

消防団員67名中30名が訓練に参加したことで44.7%が訓練経験者となった。

不参加の団員にはレポートと写真の共有を通して理解を図った。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
会議	回数	2回	2回	3年後の全団員に占める訓練参加経験者割合50%を目標とする。 初年度実績 44.7% (30名／総数67名)
訓練参加者	人数	22名	30名	
レポート配布	部	4部	6部	

5 その他参考情報

知夫村は人口600人ほどの離島にあり、道が狭く、軽トラックでの運搬は多様な状況に対応できると判断し訓練を行った

